

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] パーキンソン病における栄養状態および骨密度の評価

[研究責任者] 脳神経内科 大山 健

[研究の背景]

パーキンソン病は、転びやすく骨折がおこりやすい状態です。パーキンソン病を発症しやすい高齢者では、低栄養や活動性の低下が組み合わさって起こるサルコペニア*やフレイル**も起こりやすく、さらに転倒しやすい状況となることが類推されます。

*サルコペニアとは、加齢や疾患によって全身の筋肉量と筋力が低下し、歩行や立ち上がりなどの身体機能が著しく低下する状態のことを指します。

**フレイルとは、加齢に伴って筋力や心身の活力が低下し、健康な状態と要介護状態の中間に位置する「虚弱な状態」のことを指します。

[研究の目的]

パーキンソン病の骨密度や栄養状態について調査を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

パーキンソン病の患者さんで、

西暦 2025 年 1 月 1 日から西暦 2025 年 12 月 31 日の間に診療を受けた方

●研究期間：臨床研究審査委員会 承認日から西暦 2027 年 2 月 28 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、生活状況、食事状況、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発

表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

脳神経内科 大山 健

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913